

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

## 株式会社片桐製作所

上山市にある株式会社片桐製作所の本澤諒磨さん取材しました！

本澤さんは山形県立産業技術短期大学校を卒業した後、2022年に入社しました。

現在は技術課で勤務しています。

### (1) 仕事内容編

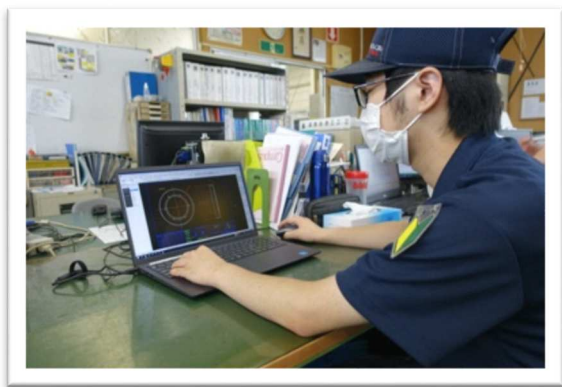
——現在の仕事内容について教えてください。

私は技術課に所属しています。技術課は製品を作るのではなく、製品を作る道具であったり周辺設備を作ったりする部署で、効率アップや不良低減のために工夫を凝らします。

その他にも、機械設備の搬入や修理も行います。私は入社して5ヶ月なのでまだ経験したことはありませんが、今後は機会があればやりたいと思っています。



——産業技術短期大学校では、現在のお仕事に近いことを学んでいたのでしょうか？



だいたいはそうですね。産業技術短期大学校では主に、機械の使い方、材料の種類、特性を学んできました。

## ——技術課で、力を入れて取り組んでいることは何ですか？

片桐製作所では、アクセル活動という改善点を提案する活動を行っています。改善することで効率アップや金銭面での利点を生み出すことができますが、技術課は出てきた改善提案を実現するために、具体的にどういうことをするかを考える部署でもあります。例えば設備の自動化に向けて周辺設備を製作するなど、利益を少しでも増やすための活動をしています。

(先輩社員の加藤さん) アクセル活動は、原価低減活動を中心にして長年行っている活動です。技術課は、現場の要望などの声を聴きながら活動を進めています。



## ——お仕事で大変だと思うことはありますか？

産技短で学んだこととは違うことがあり、作業の内容、図面の書き方など細かい違いに慣れるのが大変で、手間取ることが多いです。

## ——苦勞を乗り越えることができるモチベーションはなんですか？



自分ひとりではできないときに、先輩から声をかけてもらったりアドバイスを受けてみると、「できる！」感じが湧いて、やる気が出て頑張れます。先輩も原理原則をしっかり教えてくれますので、どんどん聞いて大丈夫だという雰囲気があります。

## (2) 職場編

——片桐製作所に志望したきっかけを教えてください。



産業技術短期大学校では、デジタルエンジニアリング科に所属していて、機械加工や設計をメインで学んでいました。ここで学んだ知識を自分の力として活かした仕事がしたい、働きたいと思ったため、片桐製作所の技術職に志望しました。

(加藤さん) ちなみに片桐製作所のインターンシップは参加したの？

はい。1年生のときに参加しました。

——インターンシップに参加して、片桐製作所が印象に残ったのですか？

片桐製作所では冷間鍛造という、熱を使わずに常温のまま金属を加工するという特殊な技術を持っているという印象でした。

(加藤さん) 冷間鍛造というのは、ある程度の大きさに切ったバー材を、金型に入れて、圧力をかけてつぶして変形させるという技術です。通常だと、金属は温めた方が加工しやすいのですが、当社は常温のまま鍛造することを得意としています。

冷間鍛造には利点がいっぱいありますので、この会社の力になりたい、自分の力を活かしたいと思って選びました。



——インターンシップではどのようなことをしたのですか？

プレスを行っている現場を体験させていただきました。具体的には機械から出てきた製品を検査、セット、回収する作業を行いました。



(加藤さん) インターンシップは短期間で、難しい仕事をするには時間が足りないのですが、現場の様子を見てもらいながら、補助的な作業をしてもらっています。

——入社してみて、仕事の面白さはどこに感じますか？

技術課の話ですが、決まった仕事がなく、注文を受けて毎回違う作業をすることにやりがいを感じます。モノづくりをしながら、楽しく、新しいことに常に挑戦していく感じです。

——作業が毎回異なるということですが、部署の先輩が逐一教えてくださるのでしょうか。入社してからの研修はどうなっていますか？

そうですね。先輩からアドバイスを聞くなどしました。

(加藤さん) 入社して一週間は、社内の基礎的な事柄を一からみっちり教えます。各課の部長クラスが技術的な話、社会人としてのマナー、会社の特色などに関して、工場見学やコミュニケーションをとる場を交えながら行っています。その後に現場配属になります。

——入社したてだと配属の希望を出すことは難しいと思いますが、配属は会社で決めているのでしょうか？

(加藤さん) そうですね。入社時に、配属先の見込みを伝えています。短大・大学卒は技術系に配属されることが多いです。その後は、各個人とコミュニケーションをとったうえで、数年後に部署を異動する人もいます。異動は、業界の情勢をもとにした会社の戦略的な考えが反映される場合が多いです。

——他にも入社して良かったということはあるですか？

先ほどの回答に追加すると、「ブラザー制度」という先輩社員からアドバイスをいただける機会があります。ブラザーになっている先輩社員には上司にはなかなか聞きづらい細かい相談ができます。

その他にも上司や先輩に相談やコミュニケーションがとりやすいので、自分に合ったアットホームな会社で良かったと思います。

——他の部署の社員と交流する機会は多いのですか？

多いですね。特に技術課は、生産課の機械を扱うので生産課との交流が多いです。



———外に、サークル名が入ったお花のプランターがたくさんありましたが、これも交流の一環ですか？

(加藤さん) これは製造業でよく行われている「5S (整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)」活動の一つです。身の回りをきれいにすることの一環として、各サークルでお花を育てています。コロナ前には、最もきれいに咲いたサークルは社長夫妻と一緒にフランス料理にご招待、というご褒美を用意していました。



サークルはアクセル活動をメインに行っていて、現場で困っていることについて話し合いをしながら原価低減や効率化を図るという目的があります。技術課は、部署外からお願いされることも多いので、交流をする機会がたくさんあります。逆に、コミュニケーションが取れないと仕事に支障がでます。

———片桐製作所の特徴的な福利厚生を教えてください。

(加藤さん) ボウリングやゴルフなど各スポーツクラブがあって、会社から補助を出してもらえます。クラブ参加は任意ですが、コミュニケーションをとることができます。他にも「桐の会」という親睦会があり、忘年会などの食事会、運動会、小旅行などのイベントについて年に2回、会社補助があったのですが、今はコロナ禍でできていません。

また、女性は育児休業が取りやすく、育休明けには希望すれば子どもが小学4年になるまで短時間勤務が可能です。男性も育児休業取得を推進しており、今年度は女性1名、男性1名が取得しました。

まだ入社して5ヶ月なので、福利厚生は利用できていないです。親睦会もできなさそうですね……。

(加藤さん) そうだね。親睦会ができない代わりに、ここ数年はギフトとしてステーキ肉や鍋セットなど候補の中から選んでもらって、各社員に贈るかたちにはしています。

### (3) ある日の過ごし方編

#### ●8:00 【出社】

制服に着替えて、技術課に行き周辺の掃除をします。  
ラジオ体操をして朝礼を行います。

#### ●08:20 【旋盤作業開始】

図面をもとに治具※1を作成します。まず材料棚から材料を選定し、必要な長さに切断します。材料の切断には時間がかかるので、その間に点検表にしたがって旋盤※2の点検を行います。測定具や切削工具を用意して、旋盤作業を開始します。



#### ●12:00 【お昼休み】

社員食堂で先輩と一緒に食べます。弁当を持ってきていないときは近くのコンビニに行きます。

#### ●12:50 【フライス盤作業開始】

旋盤では加工できない部分をフライス盤※3で追加工します。うまくできるか不安な場合はケガキ※4を行い、印を付けます。



#### ●14:50 【10分休憩】

電灯を消し、10分の休憩をします。

#### ●15:00 【ボール盤作業開始】

ボール盤を使用して穴を開けます。

### ●16：15【整頓】

機械の周りに加工後の鉄の切りくずなどが落ちているので、機械とその周辺の掃除を行い、測定具や工具台の整理を行います。

### ●16：30【ノート記入】

本日の仕事内容、ミスや改善点、目標、疑問などを記入し、提出します。新人の間だけですが、交換ノート形式でブラザー先輩社員や上司とやりとりし、仕事を学びます。



### ●17：00【掃除】

周辺の掃除をします。

「一作業一清掃」という考え方で、一つの作業が終わった後に清掃をして、次の人が効率よく気持ちよく作業できるように前準備をします。

### ●17：10【退勤】

生産日報を記入してから退勤します。

※1 治具（じぐ） 加工物を加工しやすくするために固定や誘導等をする補助器具。

※2 旋盤（せんばん） 加工物を回転する土台に取り付け、切削加工を行う工作機械。

※3 フライス盤 回転軸に取り付けたフライスという工具を使用し、切削加工を行う工作機械。

※4 ケガキ 加工物上に線を引くこと。



#### (4) むらやまでの暮らし編

——山形の会社に就職しようと思った理由を教えてください。

やっぱり地元ですので、地元で力になりたいという思いで選んだところがありますね。

家庭菜園のナス



——そう思わせる山形の魅力、好きなところはどんなところでしょうか？

自然です。都会よりは空気がよいと思います。おいしいものもたくさんありますね。

——山形は雪が多かったり、都会と比べて交通が不便だったりすると思いますが、そういった点に対して対策があれば教えてください。

交通に関しては、当社は始業が早めの時間なので、道路の混雑時間を避けて移動できるのは利点ですね。

(加藤さん) 会社の敷地内には融雪装置がある部分もありますが、ない部分については朝出社したらまず雪かきから始めなければいけないときがあります。社員みんなで和気あいあいとやることが多いですね。除雪車も使いながら雪かきを行います。

——休日や退勤後に行っていることを教えてください。

趣味に没頭ですね。私は推理小説が好きで、好きな作家の本を読んでいます。RPGなどのゲームもたまにします。



## (5) まとめ編

——入社したばかりで少しで想像しにくいかもしれませんが、10年後の目標を教えてください。

近い将来になってしまうのですが、技能士資格を取りたいです。技術課には様々な技能士資格を取っている人がいて、取得するとバッジがもらえるのでそれを付けてみたいです。

——資格取得には補助がありますか？

(加藤さん) 受験料には100%の補助が出ます。公平を考えて1度目の試験だけですが。資格取得のために社内勉強会をして、設備を使って練習できます。資格を取ると、会社から報奨金と毎月の手当がもらえます。

——資格を取る人は多いのですか？

(加藤さん) 部署もよりますが、毎年5人ほどが取得します。取得のスピードは個人で違いますが、それぞれの作業の必要性に合わせて取得してもらいます。

——本澤さんはこれからどんな人になりたいですか？

後輩ができたとしても丁寧に教えたいです。頼ってくれるような先輩になりたいと思います。



## ——今から就職活動を行う人にアドバイスはありますか？

やはり自分で会社や仕事を見なければわかりませんので、インターンシップにたくさん参加してほしいと思います。インターンシップを通して、こういったところが良いのか見定めてもらいたいと思います。

## ——ありがとうございました！



本澤さんには先輩方と一緒にインタビューを受けていただいたのですが、朗らかな雰囲気の流れるように後輩に手助けしているシーンが何度もありました。その様子から、互いに尊敬し合いながら助け合うことができる会社だと感じました。また、工場がものすごくきれいで、会社の中で5Sを徹底していることが会社の隅々からわかりました。

【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 成澤亜衣、工学部 佐々木杏菜】

## 株式会社片桐製作所

---

- ・所在地 山形県上山市金谷字鼠谷地 1453
  - ・設立 昭和 22 年 6 月
  - ・従業員数 237 名（男性 170 名、女性 67 名）
  - ・URL <http://www.katagiri.co.jp/>
-